



TOEIC スコア 930 の家庭教師

浅野早織が贈る

英語“超”勉強法

Saori Asano

私と一緒に楽しく
英語の勉強法を
身につけましょう！



(株)名門進学会
元家庭教師

あさの さおり
浅野 早織



一流の家庭教師派遣

名門進学会

1. 著者紹介と目次

著者紹介



Saori
Asano

株式会社名門進学会

元家庭教師 浅野 早織 (あさの さおり)

国立山形大学医学部医学科卒

高校在学中1年間、交換留学生としてアメリカ・ミズーリ州に留学

そのTOEICスコアはなんと**930**

山形大学医学部医学科で日々実習・勉強・そしてたまには趣味を全力で頑張っていました。映画鑑賞、音楽鑑賞、ダンスが好きな普通の大学生でした。

家庭教師として英語を指導する際には、受験勉強やテスト勉強を通して、できるだけ実際に使える英語を、そして英語を使うことの楽しさが伝わるように指導していました。



contents



T O P	1. 著者紹介と目次
前 書 き	2. 英語を覚えるために
学 校	3. 学校を中心とした英語学習法 1
	4. 学校を中心とした英語学習法 2
	5. 学校を中心とした英語学習法 3
大学二次試験 個別試験	6. 大学二次試験・個別試験英語対策法 1
	7. 大学二次試験・個別試験英語対策法 2
TOEIC	8. TOEIC 対策法 1
	9. TOEIC 対策法 2
	10. TOEIC 対策法 3
	11. TOEIC 対策法 4 他
上級編	12. さらに英語力を高めたい方へ 1
	13. さらに英語力を高めたい方へ 2

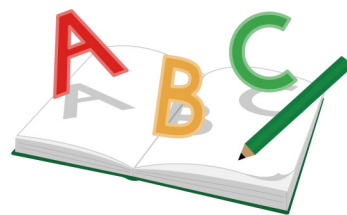


2. 英語を覚えるために

1 まず英語に慣れ親しむこと

この事は当たり前の様なことですし、よく言われる事にもかかわらず、皆さんこの点を軽視しがちです。

しかし、英語に慣れ親しむ事が、英会話や英語の成績を上げる上で非常に大切です。英語に慣れ親しんで、「面白い」「英語が使えるとこんなにも便利だ」「英語を使ってこんな事をしてみたい」という事を身をもって感じる事ができれば、ぐっと英会話の力を付ける事、英語の成績を上げる事に近づきます。



2 英語を通じて興味を持てることを探す

その為に、英語の小難しい文法や教科書から離れて、何か英語を通して、自分が興味を持てる事を探してみましょう。

洋楽を聴いてみたり、洋画を見てみたり、洋書を読むのをチャレンジしてみてもいいかもしれません。「大好きな海外芸能人がインタビューでなんと言っているか理解したい」「大好きな海外アーティストの歌詞を理解したい、自分でも口ずさめるようになりたい」なんて思えるようになったら、自然と英語の勉強に身が入るようになります。



熱中したり感動したりした時には

何かに熱中したり、感動したりした時には人は本当に強い力を発揮します。それは英語の勉強においても同じです。興味のない教科書を何時間もぼーっと眺めても何も身につけませんし、無機質な単語帳を持ち歩いてもなかなか覚えられようになりません。

英語を理解することで、気持ちが高鳴ったり、感動したりできれば、その時、得た知識は一生のものになります。また、無機質な教科書、単語帳が自分の英語力を高めてくれる素晴らしい道具に見えるようになってきます。

こういった点を「精神論なんかくだらないな」とか「そんなことで英語の成績が伸びるとは思えない」と軽視し、難しい参考書や問題集に取り掛かろうとする人がいますが、このちょっとした心掛けが一生の英語学習に大きく影響します。

3 私の場合も好きだからこそその TOEIC スコア 930

私自身は、TOEIC 930点、IELTS 7.0(overall)を取得していますが、自分の学習を振り返って「英語の勉強を頑張ったな」と思うことはあっても、「英語の勉強がつまらなかった。」と思った事は一度もありませんでした。

英語にずっと触れてきたので

大好きなアーティストの曲を繰り返し、繰り返し聴く。大好きな映画のセリフを暗記する。自分の興味のある内容の本を英語で読む。そういった事を通して、わからなかった事を辞書で調べてみる、教科書や参考書に目を通してみる。というように英語にずっと触れてきたので、どれだけの時間を英語の勉強に費やしたのか？と聞かれると正確には正直よく分かりません。英語は確実に自分の日常に溶け込んでいて、どこからが勉強でどこまでが自分の日常生活、趣味なのか分からないからです。きっと、英語に触れていた時間を測ることができたとしたら相当な時間になるような気がします。



4 シチュエーション別英語学習法について

先ほど、お話したように、英語に慣れ親しむ事ができれば、英語の勉強に対するハードルが下がり、積極的に勉強できるようになります。とは言っても、学校の定期考査、センター試験、TOEIC などのテストとなれば、それに対応する勉強が必要です。これから先では、それぞれの対策についてお話したいと思います。

3. 学校を中心とした英語学習法 1

まず、普段の学習としては、授業を最大限活用してください。
中・高校生の平日は一日のほとんどを学校で過ごし、そのうちのほとんどが授業時間です。



1 前書き

よく、「学校の先生の授業が分かりにくい。」「先生との相性が悪い。」「使っている教材が合わない。」と言って、授業中に予備校の予習や他の教材を使って自習をしている人がいますが、これは一切やめましょう。

授業を最大限に活用しましょう

どちらにせよ学内の定期試験の対策はしなくてはいけないのでこういった事をして、学校での学習を後回しにすると、定期考査直前に自分でまた勉強し直すなくてはいけません。これは、二度手間ですし、実際に授業を聞いて、授業を活用した場合の倍以上の時間と労力がかかります。また、一夜漬けになりやすく、知識が定着しません。是非、色々工夫して授業を最大限に活用しましょう。

では、どんな風に工夫して授業をうけたらいいのか、どうしたら授業を活用できるのか、という点ですが、これは個人の性格、担当の先生の授業体系などによって異なってきます。ですから、色々試してみて一番自分に合ったやり方を探してみてください。

これから先に私自身や私の周りの子、私が家庭教師をしていて指導していた生徒さんが行っていた工夫で、よいなと思ったものをいくつか例として示したいと思います。是非参考にしてみてください。



授業中に予備校の予習や他の教材を使って自習



- ・学校での授業が後回し → × 二度手間になる
- ・自分でまた勉強し直し → × 倍以上の時間と労力がかかる



知識が定着しない

2 授業活用例 1

i) 授業前後の時間を大切にする。

英語の授業の前後は皆さんどう過ごしていますか？ぼーっとしていたり、携帯電話をいじったりしていませんか？

よく授業を受ける時には予習、復習が大切だと聞くことと思います。とはいえ、部活があったり、塾に通っていたり、なかなか忙しくて学校から帰った後に予習、復習の時間を取るのは難しい人も多いですね。そこで是非、授業の前後の空き時間を使って予習、復習をしてみてください。

3. 学校を中心とした英語学習法 1

ちょっとした時間でもいいので

休み時間は休みたい、友達と話したい!という人もいます。そんな人は、授業開始の合図があって、先生が教室に入ってきて、授業の準備をしているちょっとした時間でもいいので、前回の授業内容の箇所の教科書、ノートをさりりと眺めてみましょう。あるいは、今回の授業部分の内容をざっと読んでみましょう。そんなちょっとした時間の積み重ねを繰り返していくと、定期試験前に焦らずに勉強できます。また、記憶をこまめに呼び起こす事で知識の定着を図ることができます。

私自身もそうでしたが、「ちゃんと復習しよう。」と想着いても、他の科目の勉強や塾の勉強などいろいろこなしているうちに、復習するのを忘れてしまうものです。しかし、こんな風に授業の前後や合間時間に予習、復習する習慣をつけておくとまったく予習、復習をしないなんて事はなくなりますし、結構な頻度で授業の内容を思い起こすきっかけになります。

勉強するきっかけにも

授業前後で予習復習をして、授業が開始して、中途半端な所で学習が止まってしまったら、気になって学校が終わってからこれだけ片づけちゃおうと思いだして、勉強するきっかけにもなります。また、短い合間時間に復習できるように工夫する努力もしなくては、と目的意識をもって授業に取り組めるようになります。

もちろん、予習復習の時間をきちんと取って学習できるのが一番ですが、なかなかできない人は是非こんな風に学習してみてください。これは、英語以外の科目にも活用できます。



学校を中心とした英語学習法1 まとめ



①授業を最大限活用しましょう。

POINT

●学校での学習を後回しにせず、工夫して学びましょう。

②授業前後の時間を大切にする。

POINT

●授業の前後の空き時間や休み時間を使って予習、復習をする。

③勉強するきっかけづくりをしましょう。

POINT

●合間時間に復習し工夫して勉強していくと、目的意識を持って授業に取り組めるようになります。

4. 学校を中心とした英語学習法2

1 授業活用例 2

i) 授業中に単語帳、カードの下準備をする。

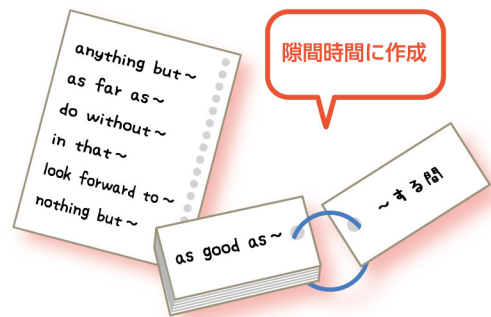
実際に授業を受けている時に、新しい単語や知らない単語に遭遇すると思います。そんな時は、単語カードまたは授業ノートとは別のノート、ルーズリーフにその単語をサラッと書いておきましょう。

よくテスト直前に単語カードを作っている人を見ますが、これは本当に効率が悪いですし、テスト勉強をし始めてから単語帳を作っているのは、遅いです。そうして書き留めた単語の日本語訳を前ページで述べた隙間時間などに書いて単語カードを完成させましょう。授業中に全て完成させないのが、またポイントです。

分からなかった単語を書き留める

授業は集中して聞いてほしいので、あまりそういった作業をしない方がいいですし、先生の中にはこういった事を学生が授業中にするのを嫌がる先生もいらっしゃいます。ですから、まずは分からなかった単語をさらりと書き留めておきましょう。また、少し時間をおいて単語の日本語訳を書くことで記憶を再度確認し、定着するきっかけになります。単語帳を作りながら復習もできてしまうので、是非試してみてください。

でも、あくまで単語帳はそういった記憶を定着させるための道具です。単語帳を作ること自体に必死にならないようにしてください。



ii) シャドーイングをする。

授業中に先生自身が英文を読んだり、生徒があてられて英文を読んだりする時間があるかと思いますが、これをただぼんやり聞いているだけだとすぐに眠くなってしまおうのでしょうか、この時間を使ってシャドーイングを試みましょう。

シャドーイングというのは、誰かが音読した文章を聞いたら、その後を追うようにして、音読をすることです。勿論、授業中ですので声を出す事はできないと思うので、声は出さずに口の動きだけでもやってみましょう。眠気防止にもなるので、是非やってみてください。

iii) テストに出そうな所を予想し、書き留めておく。

テスト直前に教科書やノートを眺めて「何が出るのか。わからない!」と途方にくれたことはありませんか?でも、テストに出るような大事な個所は先生が授業中にしっかり解説してくれているはずですから、それをきちんとマーク、印をつけておきましょう。

ルーズリーフに書き留める

私自身は、ルーズリーフを余分に準備しておいてそこに書き留めておきました。あくまで「no+ -er +than の使い方」「助動詞の使い方」「○ページの●行目の構文」といったような走り書きで大丈夫です。テスト前に何をしたらいいのか悩まないために、授業時間を使って、下準備をしておきましょう。

私が指導している生徒さんにはこの走り書きを書いてもらって、その週の指導時間に一緒に確認しています。指導時間中に「質問はないかな。」と聞いてもなかなか思い出せなかったりするのです。そういう時に一緒に重要だと思われるポイントがどのくらい理解できているか一緒に確認していました。



4. 学校を中心とした英語学習法2

2 後書き

いくつか具体例を書いてみましたが、あくまで例なので、学校の方針に沿いながら、自分の勉強しやすい仕方を探してみてください。そして最重要項目は先生の説明をきちんと理解することです。説明に集中できなかったり、追いつけなかったりした時は一度すべての作業を中断して、きちんと耳を傾けてください。

工夫次第ではどんな授業でも

上に書いたようなことを全てこなしながらきちんと授業を聞くとなかなか忙しいですし、眠くもなりません。授業が終わるころには、きちんと授業に参加したという充実感、達成感が得られるでしょう。ぼーっと受動的に授業を聞くのではなく、何をすべきかよく考えながら先生の話の話を聞くと、今までと同じ授業でも全く違うもののように思えます。先生との相性や問題集、授業形態など自分に合わなかったりすることもあるとは思いますが、工夫次第ではどんな授業でも有効に活用できます。

学校を中心とした英語学習法2 まとめ



①授業中に単語帳、カードの下準備をする。

POINT

- 新しい単語や知らない単語は、単語カード等を書いておく。
- 授業は集中して聞く。

②シャドーイングをする。

POINT

- 音読した文章を聞いたら、その後を追うようにして音読をする。
- 声は出さずに口の動きだけでもやってみる。

③テストに出そうな所を予想し、書き留めておく。

POINT

- しっかり解説された大事な箇所は、マークや印を付けておく。
- 走り書きでもいいので書き留めておき、下準備しておく。

5. 学校を中心とした英語学習法3

1 定期試験対策

定期試験は担当の先生によって作られる問題の内容、形式が少しずつ異なってくるので、一概には言えないのですが、ここでも具体的にどのように対策したらいいのかいくつかやり方を挙げていきます。

i) 教科書の内容は繰り返し音読！

これは非常に大切です。とにかくとにかくぶつぶつ何回も何回も音読しましょう。時には友達を巻き込んで一緒に音読会をするといいかもしれません。なかなか一人では音読をすることが続かなければ、テスト1週間前から毎日、1日の授業が終わったら友達と20分だけ教室に残って音読をするとよいです。

友達にお願いしてみる

こんなことを言うと「授業が終わった後、学校に残って一緒に音読しようなんて、そんな真面目な事を友達に言うのは恥ずかしい。」という人があると思いますが、友達に「家に帰ると勉強できないから20分だけ付き合ってください。」とお願いしてみましょう。

時には、読み方が分からない単語が多かった人は、ジュースをおごるなんて賭けをしてみると面白いかもしれません。一人でやる勉強は時に退屈ですがこうやって友達とゲーム感覚で勉強するのもおすすめです。



ii) 教科書に登場した新しい単語は、きちんと意味、使用方法、読み方を覚える。

教科書によって異なると思いますが、多くの教科書は新しく出てきた単語、もしくは覚えてほしい単語はどこかにまとめて書いてあったり、本文とは別に書かれていたりします。

これらは完璧にする必要があります。完璧にするというのは、英単語のスペリング（綴り）、日本語訳、使用方法、読み方をきちんと覚えることです。例えば、I'll do anything to make you happy. (私は、君を幸せにするためなら何でもする) という文章で使われる「make+A+C」で「AをCにする」という用法を覚えるとしします。

文章で覚える

この時にポイントなのは、絶対に「make+A+C」＝「AをCにする」と覚えなことです。AとかCとか、時には○○とか～～をAやCに当てはめて覚える人がいますが、これは後々、色々な単語を覚えていくに伴って、日本語訳するときにA、Cどちらが先に来るっけ？とかAをCにするって、どんな時に使えるのっけ？とよくわからなくなる原因になります。是非、文章で覚えてください。

I'll do anything to make you happy. (君を幸せにするためなら何でもする) とセットで覚えるために、英文を1行で書き、そのすぐ下に日本語訳を1行で書きましょう。そして、覚えたい用法である make you happy と対応する日本語訳の君を幸せにする部分に下線を引き、対応する個所を同じ印でわかるようにマーカーを引いたり四角や丸で囲んだりしてみましょう。この文章の場合、you と君に同じ印をつけ、happy と幸せに同じ印をつけてみます。

こうやって視覚的にわかりやすくすることで、知識が整理されます。またこの印をつけた部分を変えて自分で文章を考えてみると、英作文対策にもなります。それができたら実際に文章を音読してみましょう。この作業を繰り返していけば、英単語をきちんと使える形で覚える事ができます。



5. 学校を中心とした英語学習法3

iii) 学校から指定された問題集は繰り返しとく。

これもよく言われることですが、なかなか実践できていないと思います。しかし、学校の先生もまったく白紙、0の状態から問題を作るのは難しいので、こういった指定した問題集の問題や教科書にある巻末問題などを参考にして問題を作っています。ですから、きちんと問題集を解いて理解していれば、テストでも似たような問題にあたります。

日々コツコツ勉強すれば

定期試験は基本、いかに日々の授業をきちんと聞いていて、教科書の内容を理解できているのかをチェックする試験です。一夜漬けの丸暗記でも、何とかなるかもしれませんが、でも、それは一時的な知識でしかなく、応用がききません。上で挙げたような勉強法を日々コツコツ行うことで、定期試験の勉強がその先の受験勉強、またさらにその先の勉強にも役に立ちます。

学校を中心とした英語学習法3 まとめ



①教科書の内容は繰り返し音読！

POINT ● 何回も何回も音読が必要。

②教科書に登場した新しい単語は、きちんと意味、使用方法、読み方を覚える。

POINT ● スペリング、日本語訳、使用方法、読み方をきちんと覚える。
● 対応する箇所は同じ色で囲む等、視覚的に分かりやすくする。

③学校から指定された問題集は繰り返しとく。

POINT ● 指定した問題集の問題や、教科書の巻末問題を解いて理解しておき、日々コツコツ行う。

6. 大学二次試験・個別試験英語対策法 1

次は二次試験対策についてです。二次試験は大学ごとに傾向が大きく違い、またセンターとの配点比率、他の科目との配点比率など様々です。さらに、センター試験の配点比重の高い大学を受ける人と、私立大学などで個別試験のみで合否が決まる人では、二次試験に対して必要になってくる勉強時間、かけることのできる勉強時間も大きく異なってきます。

1 これもまずは過去問を解く

ですから、まずは、自分がどの程度二次試験・個別試験に対してウエイトをおいて勉強していかなくてはいいかしっかり把握しておきましょう。そのためには、まず、一度時間を測って本番と同じ条件で、過去問を解き、合格点との差を把握してみましょう。

受験する大学の傾向を把握する

このようにして、あとどれくらい得点を上げなくてはいいか、そのためにはどの分野をどのくらい学習する必要があるか把握するのはとても大切です。自分の受験する大学の配点、センター試験との配点比率だけでなく、問題傾向、出題される長文のレベル（長さ、内容の難易度など）、単語のレベル（センター試験、教科書レベルからどの程度離れているのか）、英作文の種類（自由英作文なのか、単なる英訳なのか）などをしっかり把握しましょう。

上位国立大学、有名私立大学などでは、センター試験に比べて単語のレベル、長文の長さや読解の難しきなどがだいたい上がります。また、記述式の出題がある大学がほとんどです。記述問題はマーク式のセンター試験と大きく異なるので、十分な対策が必要です。その際に注意すべきポイント、方法としては、



2 英文和訳の時には、構文、英文の構造をしっかり理解し、和訳できている事をアピールする

英文をざっくり読んで内容をなんとなく理解することはセンター試験でも訓練しているのですが、和訳の際にはきちんと文章構造を理解している事をアピールすることが大切です。

採点者は何人もの解答を採点し、きちんと何度も解答が読まれますが、分かっているのか分かっていないのかわかりにくい和訳の仕方をするとう、得点につながらないことがあります。

多くの場合、採点者は、採点基準に則り採点をします。例えば、時制が正しく訳されているか、構文を押さえているか、複数形単数形を押さえているか、代名詞、不定代名詞の判断ができているか、などがその基準になると思われます。

基準を満たしているというアピール

文章の意味がきちんと分かっているても、相手にこの採点基準を満たしているというアピールができていないと、点数が伸びないことがあります。是非、これらの点に注意しながら、典型的な構文はきちんとその構造とともに和訳の仕方も覚えておきましょう。

CHECK

和訳の採点基準

- ✓ **時制**が正しく訳されているか、
- ✓ **構文**を押さえているか、
- ✓ **複数形単数形**を押さえているか、
- ✓ **代名詞、不定代名詞**の判断ができているか



6. 大学二次試験・個別試験英語対策法 1

自分の和訳した文章を他の人に読んでもらって、採点を受けるのも大切です。塾や学校の先生に見てもらるか、模試などを積極的に受けて採点してもらうようにしましょう。これは逆の和文英訳でも同じです。

3 英単語のスペリングに注意

これも記述の際には非常に重要です。センター試験では自分の手で英語を書くことがないので、センター対策ばかりして自分で英文を書かないと意外に単語のスペリングを忘れてしまうものです。センター対策をしている時にも、記述式の二次試験を受ける予定のある人は単語のスペリングを忘れないように心掛けておきましょう。

4 ポキャブラリーを増やす

センター試験ではあまり難しい単語は用いられません。ただ、二次試験となると語彙のレベルが上がる場合が多いです。先ほど上で述べたように、分からない単語に出会ったときに推測する力も大切ですが、センター試験は読めるのに二次試験は全然分からない！というあまりに内容の理解ができない場合は、語彙力が二次試験レベルの語彙力に達していないことが理由の1つとしてあります。

志望校の問題を解きながら

単語帳を用いて語彙力を増やしてもいいですが、私は、できるだけ受験を予定している大学で出題されている長文の中で使われている単語を、その都度覚えていくのがいいと思っています。この時も、問題を解くときは単語が分からなくても、一旦はすべて読んで問題を解いてください。その時にはある程度単語の意味を推測しておきましょう。その後に、問題解説を読み、和訳を読みながら、単語の意味もきちんと拾っていきましょう。

上大学によっては、出されやすいテーマやポキャブラリーが毎年似ている事があり、自分の受ける大学がどのようなジャンルの英文を毎年出題しているかを知る事も大切です。また、単語だけでなくそのジャンルに関して多少なりとも知識があると文章が読みやすくなるということからも、どのようなジャンル、テーマが多く出題されているか把握しておくのはとても大切です。



7. 大学二次試験・個別試験英語対策法 2

1 自由英作文対策はある程度パターンを用意しておく

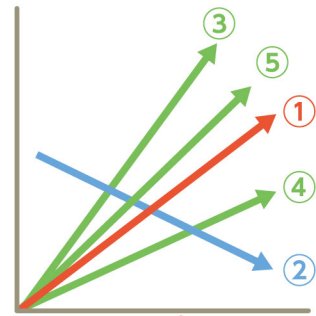
自由英作文の出題がある場合、表現でよく使われるであろう文章、フレーズ、単語はきちんと用意しておきましょう。これも、その大学の出題形式や出題傾向を把握したうえで行うのが一番良いです。

たとえば、「●●●について反対、賛成か？またその理由を述べよ。」と言ったような試験の場合には「私は●●●について、以下の点から賛成です / 反対です。」であったり、「〜〜という意見もあるが、私は・・・という点から反対です。」などが準備しておくといふフレーズになります。

数や変化についての表現も

また、グラフや図表を読み取り、それについて文章を書かなくてはならないような場合は、「増加する。」「減少する。」など数や変化についての表現を沢山知っておきましょう。「急激に増える。」「徐々に増える。」「他と比較すれば増えている。」など「増える」といっても色々な増え方がありますよね。その表現について学んでおくといふです。

それらをノートにまとめておいて、いつでも頭から引き出せるようにしておきましょう。単語は勉強しているし模試や普段の勉強ではなんとなくかけているし、大丈夫！と言ってこの作業をやらずに、自由英作文の設問に挑もうとする人もいますが、すこしの手間なので是非やってください。



- ①増加する increase
- ②減少する decrease
- ③急激に増える increase sharply
- ④徐々に増える slowly-increasing
- ⑤他と比較すると増えている
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2 本番では緊張するので万全の準備をする

試験本番は普段とは全く違う環境で行いますし、何といっても緊張しています。普段なら冷静に考えて思い出せるようなことが思い出せなくなったりするという事が十分にあり得ます。また、たとえ思い出せてもすっかり綴りを忘れたり、時制を間違えたり、冠詞の付け忘れ、複数形の -s の付け忘れなどをして減点されてしまうのはもったいないです。

よく使うフレーズは覚えておく

よく使うであろうフレーズはきっちり準備して、覚えておきましょう。そうすることで減点も防げますし、なにより限られた制限時間の中、自信をもってかける文章が一つでも多いのは大きなアドバンテージになります。

私自身が受験した大学には自由英作文はなかったのですが、自由英作文が必要になる writing が課せられている英語の試験を受ける時、グラフを読み取る問題の時には導入でこういう表現で説明しよう、とか、数の変化はこの言葉で表現しようと、いったように予測を立てて何パターンも用意しておきました。

もちろん、それがそのまま使えることはなかなかないですが、そうやってあらかじめ用意しておいた表現に付け加えたり、少し手を加えるだけできちんとした解答になることがほとんどでした。

添削してもらうことは大切

先ほど述べた英文和訳、和文英訳対策だけでなく、自由英作文においても自分の書いた文章を添削してもらうのは非常に大切です。学校の先生や塾の先生にお願いできる場合は、是非積極的に自分の書いた文章を見てもらいましょう。私の友達で、どうしても英作文で得点したいと考えていた子は、先生にお願いし、2日に一回英作文の課題をもらっていました。そして、それを解いたノートを先生に授業後見ていただいて、コメントいただいていた。

7. 大学二次試験・個別試験英語対策法 2

3 私の“根性ノート”

これは、記述式の数学の試験対策にも応用できる勉強の仕方です。私自身は英語ではなく高校生の時に苦手意識の強かった記述式の数学の問題対策に対して行っていました。高校の数学の先生にお願いし、「根性ノート」と称したノートを作っていました。やり方は以下の通りです。



というのを毎日繰り返していました。これを英語に置き換えて、なにか学校で配布されている例文集や英作文対策問題集や受験予定の大学の過去問を使って行うといいかもしれません。

もちろん、解答がついている問題集をやっていれば、自分で解いて答え合わせをして自分で足りないところを埋めるような学習ができるのが1番ですが、苦手意識が強すぎたり、英作文の様に答え合わせが自分でしにくいような問題はこういった勉強の仕方がとてもよいです。

4 良い先生に出会えた私の幸運

そうはいつでも、先生にご協力いただかなくてはいけないので、なかなか実際に行くのは難しいのかもしれませんが。私は、高校時代に記述式試験の得点が伸びず悩んでいる時、たまたま相談させていただいた先生に、この根性ノートのシステムを提案していただきました。この根性ノートを提案し、実際に行ってくださった先生には今でも本当に感謝しています。

余談になりますが、実は高校を卒業して随分たち、数学とはほぼ無縁の生活をしていますが、実はいまだにそのノートを保管してたりします。

採点してもらう機会を多く持つ

もし、そういった勉強にお付き合いいただける先生が周りにいなかった場合には、各大学の模擬試験や記述式の模擬試験を積極的に受けて、採点していただきましょう。また、予備校や通信教育で、英作文を採点してくれる講座があると思うのでそういったものを利用するのもよいです。とにかく、プロの人に自分の書いた文章を見て、採点してもらおうという機会をできるだけ多く持てるようにしましょう。

7. 大学二次試験・個別試験英語対策法 2

大学二次試験・個別試験英語対策法 まとめ



大学ごとに傾向が
大きく違うので、
勉強方法も
変わってきます

Good!

① 過去問題を解きましょう。

POINT ● 試験問題と同じ時間で解き、点数を出してこの先の学習に生かしましょう。

② 英文和訳の時には、構文、英文の構造をしっかり理解し、和訳できている事をアピールする

POINT ● 時制、構文、複数・単数形、代名詞、不定代名詞の判断ができているかをきちんと訳す。

③ 英単語のスペリングに注意。

POINT ● 記述の際に重要なため、覚えておく。

④ ボキャブラリーを増やす。

POINT ● 語彙のレベルが上がるため、単語の意味を推測しながら読み進められるよう、その都度覚えて行く。

⑤ 自由英作文はパターンを用意しておく。

POINT ● 表現がよく使われるであろう文章、フレーズ、単語、グラフや図表を読みとる際の数や変化についての表現も学んでおく。

⑥ 本番では緊張するので万全の準備をする。

POINT ● 自信をもってかける文章やフレーズを、予測を立てて何パターンか用意しておく。

⑦ プロに採点をしてもらおう。

POINT ● 先生に協力していただいたり、模擬試験をプロに採点してもらおう。

8. TOEIC対策法 1

近年では AO 入試や推薦入試の際に TOEIC のスコアがよいと有利だといわれたり、TOEIC のスコアを必要とするような試験もあるようで、高校生の方で TOEIC 高得点を取りたい！という方や、大学入学後 TOEIC の受験が義務付けられていて、そのスコアによってクラス分けされるから準備しておきたい！と相談に来られる方もいるので、TOEIC についてもお話したいと思います。

1 まずは TOEIC を受けてみよう

まず、とにかく何よりも先に一度受けて見るのが大切です。非常に「TOEIC 形式の試験慣れ」がものをいうので、まずは一回慣れるために受けてみましょう。

私自身も過去何回か TOEIC を受験していますが、受けるたびにスコアが上がっています。やはり、慣れて問題を解くペースや受験環境が分かっているとだいぶスコアが異なってきます。私自身も初めて受けた時は、その形式や受験環境、ペース配分が分からずひどく慌てながら試験を解いた覚えがあります。

入試と違って、一発勝負ではないので、TOEIC 高スコア取りたいという方は、何回か受験してみるといいと思います。

2 TOEIC の形式

TOEIC は、リスニングとリーディングの二つのパートがあります。どちらもマーク式で、記述問題はありません。リスニングは45分間で100問、リーディングは75分間で100問、合計二時間で200問の問題を解くことになります。

スコアは、10点～990点の5点刻みで表示されます。配点はリスニング495点、リーディング495点になります。このことから、センター試験や大学入学試験に比べると、非常にリスニングの割合が大きくなっていることが分かります。ですから、またこれらの試験とは違った対策が必要になってきます。

3 TOEIC リスニング対策 1

TOEIC リスニング試験で最も注意しなくてはいけなくて、センター試験・リスニングと異なる点は、問題文が1度しか放送されないという事です。センター試験では、一回目ざっと内容把握をして、二回目で解答を導き出すような個所に注意して聞くという事ができたのですが、TOEIC では、そのような解き方はできません。

慣れておくのが大切

ですから、一回の問題放送で必要な情報をきちんと把握できる能力が必要になってきます。この点が、TOEIC の難易度をグンと上げている理由だと思います。たった一回の問題放送に集中し続けて解答を選ぶというのを45分間の試験時間中繰り返し行わなくてはなりません。試験中は、なかなか息をつくタイミングがなく、非常に体力、集中力を消耗します。ですから、英語を集中して聴き続けるということにも慣れておく必要があります。

こういった点からもやはり TOEIC の試験に慣れておくというのが、いかに大切かわかるといえます。



8. TOEIC対策法 1

i) Part1

リスニングは4つのパートに分かれており、最初のPart1は写真描写問題で、設問数は10問になります。ここでは、各設問に写真が1枚提示されていて、選択肢は問題冊子に印刷されておらず、読まれる問題、選択肢を聞き解答する必要があります。これは比較的、易しい設問が多く、きちんと得点したいところです。ポイントとしては、写真を見た時に写真に写っているものを英単語でどう表現されるかある程度予測しながら聴くことが大切です。

ii) Part2

Part2は応答問題で、設問数は30問です。1つの質問または文章とそれに対する答えがそれぞれ1度だけ放送されます。印刷はされておらず、すべて、英文を聞き取り、解答を選ぶ必要があります。part1に比べると集中して英文を聞き取らなくてはならなくなってきます。

気持ちを切り替えて次の問題に

途中の設問で躓いてしまって解答に悩んでしまっても、すぐに次の設問に入ってしまいますので、とにかくわからなかったら何かマークをして、続きの問題の準備をしましょう。よく1つの問題に躓いてしまって、悩んでいたらその次の問題も聞き逃して、という悪循環にはまってしまう人がいます。躓いてしまっても、気持ちを切り替えて次の問題に行きましょう。

もしかしたら次の問題できちんと解答が選べたかもしれないのに、前の問題に悩んでいたせいで、放送を聞き逃して得点できなかったなんてことになったらとてももったいないです。これはPart2だけでなく、リスニング全体を通して言えることなので、リスニングの試験中は、「自分の解ける問題」と「自分の解けない問題」をきちんと分けて処理し、解答していくようにしましょう。

時間制限が厳しく焦りやすいので

また、焦るとマークミスも起こしやすいので、わからなかった時もとりあえず必ず何か1つ解答をマークするようにおきましょう。たまに、わからなかったから飛ばしておこう、なんて考えていたら焦りすぎて気づいたら一個ずつマークがずれていたなどという人もいます。TOEICは時間制限が厳しい試験で焦りやすいので、日ごろからミスを減らすような対策を自分なりにきちんとしておきましょう。



9. TOEIC対策法2

1 TOEIC リスニング対策 2

i) Part3

Part3では会話問題で、設問数は30問です。2人の人物による会話が1度だけ放送されます。設問と選択肢は印刷されています。ですから、これはセンターと同じように隙間時間ができたら一個前の設問・選択肢に目を通しておきましょう。

設問・選択肢から予測を立てる

設問・選択肢から何に注意して聞くべきか予測を立て、会話を聞きましょう。また、各会話には3問設問があるというのも覚えておくべき大事なことです。初歩的なことなのですが、たまに、1問だけ解いて安心してしまう人がいます。きちんと設問を把握しましょう。また、設問に対する情報が出てくるペースもどの設問であってもおおよそ似ています。

ですから、どれくらいのペースで設問の解答に必要な情報がちりばめられているか体感し、感覚として身に付けておくと、1つの会話文の中で3つの設問のうち1つの設問の解答が選べなかったとき、その分からなかった問題の会話文を聞いて答える問題を「自分の解けない問題」として処理して、次の問題の情報を聴くことに集中するように切り替えるタイミングがわかるようになります。

英会話のテンポに慣れる

また、英語での会話のテンポに慣れることが大切です。会話のテンポに慣れていれば、1人の人の英文を聞き、それに対する反応としての英文の予測もつける事ができるようになります。また、例えどちらか1人の英文が聞き取れなくても、片方の反応を聞くことで、ある程度予想することもできます。会話文は話す人が交互に代わるので、途中で躓いても、気持ちの切り替えをするタイミングがわかりやすいと思います。

一度聞き逃して、よくわからなくなっても気持ちを切り替えてその次に相手の人が話す内容に集中しましょう。会話文中の質問、それに対する答え、聞き直しや言い直しをしたところなどが解答にかかわってくることも多いので疑問文とそれに対する返事や繰り返し出てきた情報は注意深く聴くようにしましょう。



ii) Part4

Part4は、アナウンスやナレーションが1度だけ放送され、問題用紙に印刷された設問に対して、選択肢から答えを選ぶ問題です。ここでもPart3同様、1つの放送に対して、3つの設問があります。リスニングのパートで最も集中力が必要になってくる個所ですから、最後まで集中を切らさないように問題を解きましょう。長い文章の中から必要な情報を取り出すことが大切です。

これもセンター試験同様長い英語の文章を集中して聴くことができるようなトレーニングが大切です。毎日少しずつ英語を聴くことを続けていき、集中して聴ける時間を伸ばしていきましょう。また、TOEICの設問の長さぐらいは集中して聴けるようになった人は、普段の学習で英語の音源(単語帳の音源、TOEICの予想問題集などの音源)を聴くときに少しはやめて聴くようにしてみましょう。初めは1.2倍速くらいで聴く訓練から始めてみるといいと思います。

TOEICリスニング対策 まとめ



① まずは TOEIC を受けてみましょう。

POINT

● 試験慣れがものをいうので、何回か受験してみましょう。

② 1回の放送で把握できる能力を付けよう。

POINT

● 毎日少しずつ英語を、集中して聞き続けることに慣れておく。
● 会話のテンポに慣れておく。

10. TOEIC対策法3

1 TOEIC リーディング対策 1

Part5以降はリーディング問題になります。そう言っても、TOEICは全てマークシート式なため、リーディングパートでも記述はありません。もちろん、英語力という意味ではしっかりスペリングが正しく書けるという事は大切ですが、TOEIC対策としては自分で英単語を正しく書く事が必要となるような出題はありません。

i) Part5

Part5は短文穴埋め問題で、不完全な文章を完成させるために、四つの選択肢の中から最も適切なものを選ぶものです。設問数は40問です。Part5は他のpartに比べると一問にかける時間はそんなに必要ありません。その後続くpar6、7にかける時間も考えると、理想では1問20秒前後で解けるようになってください。

Part5は、文法・語彙の問題になっています。その中でも品詞に関する問題が多く出題されています。単語を覚えるときに動詞、名詞、副詞、形容詞をきちんと把握しながら覚えましょう。英語の品詞は、語尾を見ると判別できると思います。

すぐに品詞を判別出来るように

名詞につかわれる語尾、動詞に使われる語尾、形容詞に使われる語尾を自分でジャンル分けして覚えて置き、問題を解くときにはぱっと見た時にすぐ単語の品詞がなんであるか判別できるようになりましょう。そして、問題文を読み空欄部分にはどの品詞が入るのかその空欄前後を中心にみて判別しましょう。

例えば、名詞は、主語の位置、他動詞の直後、冠詞の直後、所有格の直後、に来ることが多く、動詞は、主語の直後、助動詞の直後、命令形で文章の頭の位置に来ることが多いです。形容詞は、名詞の直前、be動詞の後に来ることが多く、副詞は名詞と動詞の間、形容詞の直前、分詞構文の先頭に来ることが多いです。これらは文法の基礎中の基礎ですが、こういった点をきちんと整理しながら解くのが大切です。

ひたすら文法問題集を繰り返し、繰り返し行いながら覚えていきましょう。私は、センター対策のところで先ほど述べた「Next Stage 英文法・語法問題一入試英語頻出ポイント218の征服(桐原書店)」をひたすら繰り返し解きました。そして、文法問題も声に出して覚えるようにしました。

繰り返し解いて音読まで行えば

繰り返し解いて、音読まで行えば、文法問題は、ぱっと見ただけで、すぐに答えることができるようになります。

本当に繰り返し、繰り返し解いて、音読までしていると問題を解いていて「あれ？これってどっちの選択肢が正しいんだっけ？」なんて悩んだ時に、選択肢を当てはめて音読してみると、「あっ、こっちだな。前にこの単語の使い方問題音読したことがある！」なんて確信をもって選べるようになっていました。

文法問題は、時間をかけずに解答を選んでいって欲しいので、このように大切な文法事項は繰り返し色々な方法で学習して記憶を定着、すぐ頭の中から引き出せるようになってください。ここでもリスニングと同様、分からない問題はとりあえず何かしらマークしておいて次の問題に移りましょう。TOEICリーディングも時間との戦いです。限られた時間内で解かなくてはいけないことを頭に置きながら対策し、試験を受けましょう。

品詞は語尾を見る！



11. TOEIC対策法4他

1 TOEIC リーディング対策 2

i) Part6

Part6 では、part5 に比べると語数が増加して、問題の解答を選ぶのにも時間がかかります。最近ではこの part が難化したとも聞きます。しかし、それでも 1 問 1 分前後くらいで解くのが理想です。

Part5 に比べると part6 は文章が長くなったように思えますが、実際に選択肢を選ぶのに必要な情報は、空欄の前後に集中している事が多いので、必ずしも文章全体をじっくり読む必要はありません。ざっと一回は目を通し、空欄を埋めるのに必要な情報はどの辺にありそうか、拾い上げられるようになりましょう。そしてその作業ができれば、必要とされている能力は part5 と変わりありません。

参考書に「English tool box」などを

また、part5,6 の対策で「Next Stage 英文法・語法問題一入試英語頻出 ポイント 218 の征服 (桐原書店)」を終えた人や、実戦形式の予想問題集などを解いて分からない所がある人、さらにこの part5,6 の分野を強化したい人には、「スピード検索 文法・語法ナビ English tool box (アルク)」を辞書のように使ってみましょう。単語の使い方、前置詞別の成句で大切なものなどがとてもうまくまとめられていて、私自身は使いやすかったです。また、例文も非常に多いのでこれらを音読してみるのもいいでしょう。ただ、非常に分厚い本ですし、詳しいので、全部頭から通読しようとはしないでください。

問 2

Artificial intelligence (AI) is demonstrated by machines, unlike the natural intelligence displayed by humans and animals, which involves consciousness and emotionality. The distinction [A] categories is often revealed by the acronym chosen. 'Strong' AI is usually labeled as artificial general intelligence (AGI) while attempts to emulate 'natural' intelligence have been called artificial biological intelligence (ABI). Leading AI textbooks define the field as the study of "intelligent agents": any device that perceives its environment and takes actions that maximize its chance of successfully achieving its goals.[3] Colloquially, the term "artificial intelligence" is often used to describe machines that [B] that humans associate with the human mind, such as "learning" and "problem solving".

必要な情報は空欄の前後に集中している

ii) Part7

Part7 はいよいよ長文読解の問題になります。問題数は 48 問です。ここでは、実践的な英語の文章を速読し、意味を把握し、選択肢を選ぶことが必要とされます。英文を読み慣れていない人の多くは、ここで時間が足りなくなる人が多いと思います。常日頃、文章を読むスピードに気を付けながら学習する必要があります。

練習では40分くらいで解く

Part7 の問題は、おおよそ 50 分前後でこなす必要があります。試験本番で余裕が持てるよう、センター試験と同様、普段の学習では時間制限に負荷をかけましょう。試験でかけられる時間の八割の時間つまり $50 \text{分} \times 0.8 = 40 \text{分}$ くらいの時間制限で解いていきましょう。

また、問題を解くときに注意しなくてはいけない点としては、問題の文中の単語がそのまま選択肢で用いられていないこともあるということです。同じ意味でも別の表現で選択肢には示されていることがあるので、その点にも注意しましょう。

対策としては、なによりも沢山の文章を時間的負荷をかけて読むことです。TOEIC 対策の長文問題をできる限り沢山解きましょう。また、その中で英語の文章の流れに慣れ、どのあたりを読むと必要な情報が引き出せるか分かるようになりましょう。

40 分位の時間制限

Until about a decade ago, American newspapers had a clear idea what the "news" was. It was what the prime ministers and presidents of leading countries announced at press conferences. It was politics and diplomacy and cabinet shuffles. It was economic statistics and the business mergers on Wall Street. But over the past dozen years, there has been a growing movement in American newspapers away from that conception of news and toward something looser, more feature-oriented, and more trend-driven. Max Frankel, who ruled the executive editor of the New York Times from 1964 through 1994 and



11. TOEIC対策法4他

TOEICリーディング対策 まとめ



①品詞に関する問題に注意。

POINT

●語尾を見ると判別しやすいので、ジャンル分けをして覚えておきましょう。

②文法問題も繰り返し解こう。

POINT

●お勧めする問題集を使って、音読までしておきましょう。

③沢山の文章を時間的負荷をかけて読もう。

POINT

●文章を読むスピードに気をつけながら長文問題を沢山解きましょう。

2 試験別英語勉強法 まとめ

以上、学校の定期試験対策、センター試験対策、TOEIC 対策などいくつか項目に分けていろいろお話してきましたが、どの勉強の仕方でも試験の傾向をつかみ対策をし、英語力を高めるという意味では同じです。それぞれの試験の対策を独立したものとして考えないで、英語力を高める学習だととらえてください。

また、各試験の問題傾向や出題形式は年によって変更があるので、きちんと情報を集め、たとえ突然試験傾向が変わっても対策できるように、根本的な英語力の強化を進めていくようにしましょう。

12. さらに英語力を高めたい方へ1

1 さらに上を目指す方のために

入試、校内の定期試験だけでなく、英語をきちんと使いこなせるようになりたい、いつか留学をしたい、というような意欲のある方向けの勉強法についてお話しします。

受験に必要な力とはまた異なってきますし、時間・労力もかかるので皆さん全員におすすめできる勉強法ではないので、本当に英語を頑張りたい、受験までの時間が比較的ある。という方のみ読み進めてください。

他の科目との兼ね合いも考えて

中学生、高校生のうちはもちろん、目の先の定期試験、受験に対する対策がまずは大切なので、英語だけでなく他の科目との勉強の兼ね合いもきちんと考えて英語を勉強してくださいね。せっかく英語が得意になっても、他が足を引っ張ってしまって、受験に失敗してしまつては非常にもったいないので。

ただ、最近、留学してみたい、もっと英語を使えるようになりたいと相談を受ける事も多々あるので、さらに発展した英語勉強法についてお話ししたいと思います。

2 私自身の経験から

私自身は高校時代に留学をして、実際にアメリカで生活し、現地の高校で現地の学生に交じって授業を受けた経験があります。最初のうちはとにかく毎日が大変で、どうやったら英語が伸びるのか、どうしたら自分の言いたいことが人に伝えられるのか非常に悩みました。そんな経験から私なりに役にたったなと思える勉強法で、また、日本にいながらにしてやれること、自分自身が日本に帰ってきてから英語力を衰えさせないように行っていた学習方法をいくつか紹介したいと思います。

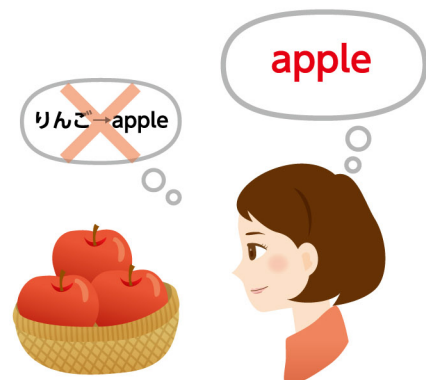
i) 頭の中を英語だけにする

まず、最初に私が行ったのは、とにかく頭の中を全て英語だけにするという事です。ぼーっとしている時も、何か思ったり考えたりしたときもできるだけ英語で考えます。日本語はできるだけ頭の中から排除します。例えば目の前にりんごがある状況におかれたときに「あ、リンゴだ、リンゴだから apple だよ。」なんて、頭の中で日本語から英語に書き換えるというのではなく、その状況を見て「リンゴ」という言葉を介さずに、リンゴを見たら apple がすっと出てくるようにしましょう。

なんだか言葉にするとよくわからないですし、普段単語帳で一生懸命、単語、日本語訳をセットで一生懸命覚えているとそんなことできるのか?と思うかもしれません。

日本語を介さず英文にしてみる

しかし、まずは、普段生活していて目の前に見える情景を日本語を介さず英文にしてみる努力をしてみましょう。もちろん、最初はうまくできないですし、感覚もつかめないと思います。ただ、これを繰り返していくと、英語を使って会話する際に、相手の言葉を聞いて理解し、その内容を聞いて自分の意見を言うという際に、格段にスピードが上がります。日本語を介すことなく、会話できれば、その分反応も早くなりますよね。もちろん、そうそう簡単にできるようになる事ではないのですが、この心掛けは非常に大切だと思います。



12. さらに英語力を高めたい方へ1

ii) 英語で日記を書く

これを応用して、英語で日記を書くというのもよいです。留学時代の友達や自身の経験でも、英語がぐんと伸びたなあと感じた時期によく起きることとしては「夜、寝ていて夢を英語で見ていたような気がする。」という経験です。

この時期にはきっと、日常に見えるものを英語で表現する事が当たり前になっていて、夢も英語で見ているのかもしれませんが。なんだか嘘のような話ですが、実際私も、英語がぐんと伸びたなーと思った時期に朝ふと起きた時に夢を英語で見ていたように思います。なかなか日本にいてそこまで持ってくるのは難しいですが、もしそこまで自身を英語漬けにできれば、留学経験者に負けないくらいの実力がついているのかもしれない。



iii) 英々辞典使用の薦め

また、私が他に行ったことは、英語—日本語の辞書を使うのをやめ、英語—英語の辞書を使うようにしたことです。

単語力がある程度ある方なら、辞書は英語—日本語のものではなく、英語—英語の辞書を使ってみましょう。英単語の意味だけでなく、その単語をさらに簡単な単語、別の表現で表すという力が付き、1つの単語を調べるだけでも、たくさんの事を学ぶことができます。

これも最初のうちはなかなか難しく、結局英語—英語の辞書で調べても、結局分からず、さらに英語—日本語の辞書で調べる、なんてこともありました。しかし、コツコツあきらめずに英語を英語で理解する癖をつけるのは、自分の表現力を高めるのに非常によかったと思います。



iv) IELTS の参考書もお薦め

また、英語の表現力、単語の幅を広げるために「セルフスタディ IELTS 必須ボキャブラリー (発行: The Japan Times)」も非常によい参考書だと思います。題名からわかるように IELTS というブリッティッシュ・カウンシル、オーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構が共同で運営・実施しているテストの対策用の参考書です。私自身は IELTS 受験の準備をする時に使用したのですが、IELTS 対策だけでなく、単語力、表現力を高めるには非常にいい教材だと思います。

この参考書は様々な単語を文脈で覚えられるように作られています。トピックごとに単語が分けられていたり、同じ意味のものを様々な表現で表す力がつくような訓練ができたりする問題も多数みられます。ネット上にダウンロード音声もあり、そのダウンロード音声はイギリス英語で収録されています。これを聞けば、普段、聞きなれているアメリカ英語との違いも学ぶことができます。

さらに英語力を高めたい方へ1 まとめ



①頭の中を英語だけにしてみましょう。

②英語で日記を書いてみましょう。

③英々辞典を使って、別の表現方法を学びましょう。

④IELTS の参考書で、単語力と表現力を高めましょう。

13. さらに英語力を高めたい方へ2

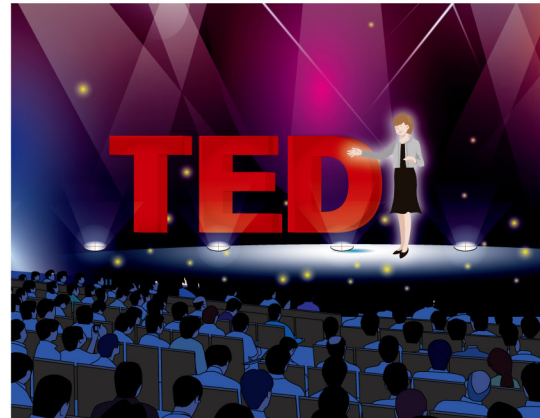
1 私自身の経験から2

日本に帰ってきてからは、とにかく沢山、いろいろな種類の英語に触れる努力もしました。ドラマ、映画、音楽は元々海外のものが好きだったのもあって、帰国後もよく見ていました。しかし、触れる英語が自分の好みのジャンルに偏ってしまいがちになっていたのも、なにかもう少し知識が広がるような、普段自分が触れないようなジャンルの英語に触れることが大切だと思い、普段読まないジャンルの難しいような本を読んでみる努力もしました。ただこれは、なかなか続きませんでした(笑)。

2 TED (Technology Entertainment Design)

そんな時に、見つけたのがTEDのサイトでした。TEDはTechnology Entertainment Designの略で、毎年大規模な講演会を行っている団体です。講演数は膨大で、そのジャンル、テーマも様々です。また、世界各地から演者が集まるので、色々な訛りの英語にも触れることができ、とても面白いです。また、英語が母国語でない方の講演を聞くと、英語が母国語でなくても、こんな風に英語を使って人前で話せる人もいるのだと勇気がわき、自分も頑張らなくてはとモチベーションも上がります。

何よりテーマが様々で、政治、科学、恋愛、医学、芸術など本当にたくさん種類の講演があります。内容も難しいものもありますが、演者の方のプレゼンテーションが非常に面白く、退屈せずに聞くことができます。それらが無料でネット上で見ることができます。英語だけでなく様々なジャンルの教養もつくので非常におすすめです。



3 積極的に英語を話す

もし、学校などで外国人英語講師の方がいる場合や、英語を話す機会がある場合には積極的に話してみましょう。その際には、前もって普段学習している時に、「この表現使ってみたい、覚えたいな。」と思った単語・フレーズをあらかじめ用意しておきましょう。ここで勇気を振り絞って使った単語・フレーズは自分の中できちんと定着させることができます。



4 留学して英語力が伸びる人・伸びない人

また、よく聞かれる質問として、「留学したらみんな英語できるようになるの?」や「やっぱり日本にいたら、留学した事ある人のように、なれないの?」があります。もちろん、留学すれば自然と英語と触れる機会が多いですし、英語を伸ばしやすい環境には身を置くことができます。

しかし、留学したすべての人が英語ができるようになって、英語の試験で高得点を取れるようになるわけではないと思います。留学してもいまいち、英語が伸びなかったなんて人も残念ながら何人か見えています。中には留学を断念して帰国した人もいました。

13. さらに英語力を高めたい方へ2

間違いを恐れず積極的に

そういった人の特徴としては、「間違いを恐れて、人前で英語を使わない。」「できないことを受け入れられない。」「積極性がない。」人が多かったように思います。英語の学習をする時に、覚えておかなくてはいけないのは、「間違いを恐れない、人が自分の英語の評価をすることに怯えない。」ということです。それは留学していても、日本国内で英語の勉強をしていても同じです。

学校で外国人英会話講師と話す機会があったら、間違いを恐れず、積極的に話しかけていったり、英語の先生に英作文の採点をしてもらったり、友達を勉強に巻き込んだり、なんだって、積極的に、かっこ悪いと思われたっていい！と割り切って自分からどんどん英語を使っていくことが大切です。日本国内でそういった努力ができない人が留学をしても、思ったような結果はなかなか得られません。

5

英語で広がる世界

英語を学び、英語を使えるようになると、自分の見る事、知る事、感じる事の幅がぐんと広がり、本当に楽しいです。英語のテストの点数がいいとか、試験に通るという事も非常に大切ですし、結果が出せるとうれしいですよ。

ただ、私自身は、それより、英語を使って自分と全く違うバックグラウンドの人とコミュニケーションが取れたり、ネットで最新の情報をいち早く英語で知れたりする時の方が英語を勉強してよかったなあ。と思う瞬間だったりします。

人生がより楽しいものになれば

前のページでもお話しましたが、あくまで英語以外の科目の勉強や試験勉強、普通の授業がまず、第一に大切なので、それらに支障のないように勉強してほしいのですが、これを読んでくださっている方の中で、英語を勉強して、使えるようになる事で人生がより楽しいものになった！と思ってくくださる方が一人でも増えたらいいなと思います。

その過程の中で、私の体験談が皆さんのお役に立つことができればよいなと思います。私自身もまだまだ勉強しなくてはいけない事、吸収しなくてはいけない事が沢山あり、日々悩んだり躓いたりしながら英語と向き合っています。一緒に頑張っていきましょう。



さらに英語力を高めたい方へ2 まとめ



- ①とにかく沢山いろんな種類の英語に触れましょう。
- ②知識や教養が広がる様々なジャンルの英語に触れましょう。
- ③覚えたいフレーズや表現を積極的に使いましょう。
- ④間違いや他人の英語評価を恐れず使いましょう。
- ⑤英語を勉強して使えるようになる事で人生をより楽しいものにしましょう！

TOEIC スコア 930 の家庭教師

浅野早織が贈る

英語“超”勉強法

一流の家庭教師派遣
名門進学会

名門進学会

検索

ホームページURL <http://www.meimonedu.co.jp/>

フリーダイヤル  0120-2000-66

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25